



2026年5月11日

各 位

会 社 名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝
(コード番号: 9090 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員経営戦略グループ長
藤田 勉
(TEL 03-3261-1000)

2026年3月期 個別業績における前事業年度実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2026年3月期（通期）の個別業績につきまして、前事業年度実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）個別業績と前事業年度実績との差異

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前事業年度実績 (A)	6,081	3,081	3,468	3,761	27.91
当事業年度実績 (B)	6,739	3,897	3,985	3,318	24.64
増減額 (B-A)	657	816	516	△442	
増減率 (%)	10.8	26.5	14.9	△11.8	

2. 差異の生じた理由

当社は純粋持株会社であり、グループのコーポレート機能を担っております。当社の主な収益は、連結子会社からの配当、経営指導料、不動産賃貸料等であり、一方で、当社の主な費用はコーポレート機能を担うために必要な費用となっております。

売上高では、当社グループにおいて新たな首都圏基幹物流センターである「AZ-COM Matsubushi EAST」（以下、「AZ松伏」）を本年2月に稼働させておりますが、AZ松伏は当社が保有し、連結子会社である（株）丸和運輸機関に賃貸している結果、不動産賃貸収入が増加しました。また、連結子会社からの配当金収入が増加しました。

利益面については、AZ松伏にかかる減価償却費等が増加した一方で、前事業年度に発生した株式公開買付関連費用が発生しなかったこともあり、営業利益は増益となりました。

また、経常利益は増益となりましたが、2030年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う社債発行費の発生に加え、借入金利上昇に伴う支払利息増の影響がありました。

なお、当社連結子会社である日本物流開発（株）株式にかかる減損損失を703百万円計上したことにより、当期純利益では減益となりました。なお、本件減損損失は連結会社間の取引によるものであり、連結業績に与える影響は軽微であります。

3. 連結業績への影響

上記変動要因の多くは連結会社間の取引によるものであり、連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上